



岩淵小 学校だより



岩淵小 HP

令和5年11月30日

12月号

北区立岩淵小学校

校長 野尻 史子

「続ける力」

校長 野尻 史子

澄みきった青い秋空が広がる日が多くなりました。秋は早足で去っていきそうですが、日中はまだ暖かな日もあり、岩淵小の子供たちは欠席も少なく※元気に過ごしています。※11月の病欠+出席停止者数は、1日平均4.5人で10月の7.8人の57%でした。

11月25日(土)の岩小まつりには、大勢の子供たちが参加、手にいっぱいのお菓子や景品を持って楽しそうでした。半年ほど前から計画、準備を進めてくださったPTA役員の皆様はじめ関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、来週末12月8日(金)・9日(土)には、～とどけぼくらのハーモニー 心をこめて かなでよう～をスローガンに、音楽会を開催いたします。音楽の授業だけでなく、休み時間にも音楽室に通って練習する子供たちの姿が、毎日のように見られました。校内を歩いて回っているときに、私もついつい鼻歌でメロディーをなぞってしまうほど、各学年の歌声や合奏の音色が学校を包んでいます。

中には、家でも歌ったりリコーダーなどで練習したりしているお子様もいることでしょう。練習を初めたばかりの頃はたどたどしく聞こえた旋律やリズムは、このところ見違えるほどなめらかに、あるいはテンポよく響いています。繰り返し、繰り返し、できるまで練習を続ける子供たちの努力には、本当に感心します。そして、子供には大人にも勝る「続ける力」が備わっているのだと実感します。

9日の保護者鑑賞日には、そうした練習の成果、子供たちが心をこめて奏でるハーモニーを、ぜひご鑑賞いただきますよう、お願いいたします。子供たちにとっては、皆様の拍手が大きな喜びや励みになることでしょう。

また、2年生の教室では、かけざんの学習が始まっています。かけざん九九の暗唱は、誰もが経験することですが、とにかく繰り返しの練習がなければ身に付きません。毎年、退屈で単純にも見えるこの九九の暗唱に、2年生の子供たちは、本当に根気強く熱心に取り組んでいます。「続ける力」を大いに発揮し、今年も全員が、九九免許皆伝の巻物(校内の職員が手作りで準備しています)を手にするよう期待しています。

かつてアメリカのメジャーリーグで活躍したイチロー選手は、『夢をつかむということ』というのは、一気にはできません。小さなことを積み重ねることで、いつの日か、信じられないような力を出せるようになっていきます。』と現役選手時代に語ったそうです。岩淵小の子供たちも、様々な学習や行事への取組を通して、「続ける力」をさらに発揮できるように成長し、いつの日か一人一人が自分の夢をかなえられるようになって欲しいと思います。

